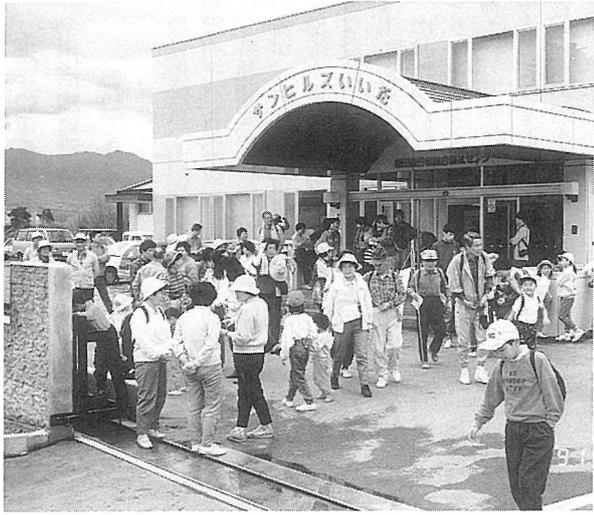


竜丘地区市民運動会 10月10日に決定する

平成3年度委員総会



飛んでるギョウチョウを見る会より

去る五月十三日竜丘公民館において平成三年度の竜丘公民館委員総会が開かれた。今年度の竜丘公民館基本方針とそれに基いた各委員会の活動方針並びに事業計画が提案され承認を受けた。関係者委員の引き継ぎ交替もすみやかな気持ちで公民館事業を推進してゆく事を確認した。又今年度地区運動会は十月十日体育の日に実施する事となった。

本年度の公民館の出発点といえる委員総会は去る五月十三日竜丘公民館において開かれた。田中館長のあいさつに続き企画会議々長の中田桐林公民館館長を議長に推薦し竜丘公民館基本方針に基づいて活動方針並びに事業計画が各委員会より提案された。昨年までと変わり今年度の地区運動会は十月十日(体育の日)に実施される事になった。かつて十月十日頃は稲刈りに大忙しの時期であったが、現在の竜丘は農業事情も変わって来た事もあり又、例年の十一月三日(文化の日)では一週間後にひかえている竜丘文化祭と両方の事業にかかわる方達も多く近年反省の材料となつて来た事、気候も十月十日が運動会として適当であり又体育の日でもあり、ふさわしいだろうと昨年度当初から今年度の実施に向けて準備が進められて来たものである。

毎年この総会の場で行なわれている社会教育功労者表彰は八名の方々が受けられた。文化事業を通じ交流、学習し地域づくりを。上川路の長沼龍さんを委員長に文化委員会では昨年に引き続き人形劇カーニバル、地区文化祭を中心とした活動を進められる計画である。カーニバルでは上演会場ごとに実行委員会を組織した取り組みとし、会場にウエイトを置く事でそれぞれの特色を出しやすくなるようにしてゆくほか、人形劇が日常的なものとなる様な環境を作って行こうと計画している。文化祭においては実行委員会を早めに組織し各種団体やグループの協力を得た企画をしてゆく予定で、地区基本構想や地域環境講義など地域づくりに関したものの発表や取り組みなど活動的なものにしてゆく予定である。

運動会は十月十日(体育の日)理解と協力を。桐林の牧内保夫さんを委員長に体育委員会はスポーツを通じての地区民の交流と健康の増進を図るため多くの方々が参加できるように活動を進めてゆく方針である。各種スポーツ大会では先日行なわれた分館交流ソフトボール大会をはじめ分館との密接な連携を保ちながら活動してゆく。大会も対抗ではなく交流といった事業名としている。運動会が今年から十月十日という事で初年度としてとまどう方もおられると思うが様々な機会を通じ理解と協力を求めてゆく考えである。石像文化財台帳の整備を進めている。飯田市でも竜丘独自の民俗資料保存委員会は桐林の今村文一さんを委員長に十六名の方々を中心に活動いただき竜丘の歴史を様々な形で整備し保存してきている。小学校の南側にある民俗資料館の管理もその一つで、近年石像文化財の再調査を行なっているが今年度は台帳の整備に力を入れてゆくとこの事になった。最近の竜丘の変わり様からも当委員会の役割は益々重要なものとなってきている。館報年五回発行予定。当館報の編集をしている広報委員会では伊藤恵一委員長のもと、今までより一回増やして年五回発行の計画で、地区の新聞的なものを目指し少しでもタイムリーなものにしてゆきたいと考えている。昨年準備中でもある公民館報二〇〇号縮刷版の発行についても地区の皆さんの御理解と御協力をお願いしたい。

学級講座等も昨年に引き続き竜丘基本構想、基本計画の策定事業への協力をはじめ地域環境を考える活動や団体グループへの援助協力を行なっていく予定である。



発行所 飯田市竜丘公民館
 編集人 竜丘公民館広報委員会
 印刷所 龍共印刷株式会社
 龍共印刷株式会社 上郷町黒田 22-5353

人口	6,414人
男子	3,088人
女子	3,326人
世帯数	1,805戸
(3年4月30日現在)	

形を整備し保存してきている。小学校の南側にある民俗資料館の管理もその一つで、近年石像文化財の再調査を行なっているが今年度は台帳の整備に力を入れてゆくとこの事になった。最近の竜丘の変わり様からも当委員会の役割は益々重要なものとなってきている。館報年五回発行予定。当館報の編集をしている広報委員会では伊藤恵一委員長のもと、今までより一回増やして年五回発行の計画で、地区の新聞的なものを目指し少しでもタイムリーなものにしてゆきたいと考えている。昨年準備中でもある公民館報二〇〇号縮刷版の発行についても地区の皆さんの御理解と御協力をお願いしたい。

学級講座等も昨年に引き続き竜丘基本構想、基本計画の策定事業への協力をはじめ地域環境を考える活動や団体グループへの援助協力を行なっていく予定である。

防災の拠点 消防詰所完成する

三月三十一日に、竜丘消防団長野原班詰所の落成式が、関係者を集め盛大に行なわれました。

大井川沿いの旧詰所ではポンプを置けば団員の居場所も無く、班の会議をするにも玄閣で、といった状態でした。又、平成元年には小型搬送車も入り、車庫としてがせいで、消防団活動に支障をきたす事も有りました。

新詰所は、長野原団地入口の四又路で、車庫と会議室など合わせて約十四坪の建物です。



新築された長野原班詰所

なく他地区以上に防災意識の向上が、望まれています。今後、新詰所を防災の拠点として、又、団員相互の親睦を深め、消防団活動のより一層の活躍を期待します。

人事

四月の人事異動により、支所職員が替わりました。松下公民館支所が、橋北公民館へ転出し、後任に上久堅公民館より大原邦彦支所が着任しました。



大原主事

吉沢保健婦は、龍江支所へ転出し、後任に千代支所より、松沢志保保健婦が着任しました。



松沢保健婦

竜丘再発見

神信仰の地

上川路 臼井秘境

上川路国道一五二号線より臼井川上流約一キロ入った所に今紹介する臼井秘境があります。

徒歩で十分ほど進むと大きな川の音が聞こえる様になりさらに進むと秘境の一つ「黄金ヶ滝」が現われます。

この滝はかつて安徳天皇の御代、文治年間の頃これより上手の合戦洞といわれる所において戦いに破れた武将が残兵を集めて逃れた折に後より敵の追手が来るのを悟り大岩がありまます。この手の

し追手の難を免れ、その後武将が従う武者の武器を滝つぼに投げ捨てさせ以後は、武士を捨て身を農夫に変え土を耕し田を開いて後世に伝えよと命じ、自ら滝の上で切腹し滝つぼに深く崩れ果てたといわれます。武者達は将の言い付けを守り鎌を手に精魂をかたむけ五穀豊饒、稲も波うつ里となり将への感謝の想いを込めて黄金ヶ滝と名付けられたと伝えられている滝です。

さらに進むと右手に「座頭の手」と書かれた立札があり上を見あげると大きな手をついた様な跡のついた大岩があります。この手の



自然あふれる臼井秘境

跡は昔、京の大男もこんな場所があった事に驚かされる方も多しと思えます。天竜川治水対策の土取り場も近くそのまます姿で後世へ伝えてゆく事もここに住む私達に今課せられる大切な事であると思われまます。

三六災害の時私にも、親類の友人が避難していた事や、今まで見た事がない水の増えた天竜川の姿を幼心に覚えています。又、五十八年の際には、消防団員として地区内を見回りや、地区民の避難の呼びかけ、手助けをと、腰や腕まで水につかりながら活動し、みるみるうちに、増えてゆく水の恐ろしさを思い出します。行政では、治水対策事業に着手する等対応を進めていますが、私達も水害や東海沖地震等非常時に備え身近な所から自主的な備えを今一度見直してみることがあるのではないのでしょうか。

昔の人曰く、『災害は忘れた頃にやってくる』『備えあれば憂いなし』そうならない事を祈りながら。



見つめ直そう竜丘を！

近年の竜丘の変わり様は国道沿いにはじまり、地区上段の開発、天竜川治水対策事業などにより大変なものである。私達住民の意識は開発においてきぼりになっていないだろうか。

竜丘地区は、国道一五二号線バイパスの開通を契機に、各種開発が進んできているが、特にここ数年、国道沿線や桐林上段地域の急激な変貌ぶりには目を見張るものがあります。

山林地帯が、墓地公園・クリーンセンター・運動広場・勤労者総合福祉センター等として生まれ変わり、今後、天竜川治水対策事業により、隣接する山林地帯にも埋め立て用の土を搬出した跡地として広大な敷地が出現し、様相はこれまで以上に大きく変わってくるものと予想されます。又、伊賀良・殿岡地区それに続く駄科地区も開発されつつあり、飯田市の基本構想計画を見ると、土地利用構想図の中には桐林から駄科一体の山林地域が、はつきりと



造成が進む、遠見原の工場用地

工業用地として色分けされておられる工業の活性化をめざす主要事業には、具体的に桐林地域への工業団地造成事業の実施が示されています。桐林及び駄科の上段地域ではいくつもの工場等の誘致が既に決定しており、駄科では工事が着々と進行している。又、これに関連して、広域的な整備計画においても、ほぼ同地域に林間工業団地、レク施設、住宅等を拠点的に配置する新市街地の形成も検討されています。

この地域開発は該当地域だけの問題ではなく、飯田市及び広域的地域の将来にも大きく関わるものです。そして、何よりも竜丘の将来にとって、産業面のみならず、生活と地域全体にかかわり、大きな影響を及ぼすものであることを改めて今、考えてみる必要があると、産業経済活動の促進は地

域活性化にとっての重要な要素であり、そのビジョンに沿って開発を推し進めなければならぬことも事実です。しかし、現状の方向は、わりと無関心に進められておられると思われ、又、それにもまして、地域に大きな影響をもたらすこれら構想を、地区民がわりと知らなかつたり、関心を寄せていない、このことは非常に大きな問題です。

地域住民が広い視野と長い見通しをもって、より地域に根づいたものに練りあげて行くことが重要といえます。この観点から、これまでの桐林上段開発を振り返ってみると実に大きな問題を抱えていたといえます。それは、特にクリーンセンターの建設を中心とする一

連の経過において、これだけ重要な事業であったにもかかわらず竜丘地区全体の問題として据え、地域を挙げて考えようとする気運が盛り上がりながらなかったことであり、言い換えれば、この竜丘に地区毎の閉鎖性を越えた地区民の総意ともいえるような「ビジョン」がなかったということでもあるといえます。

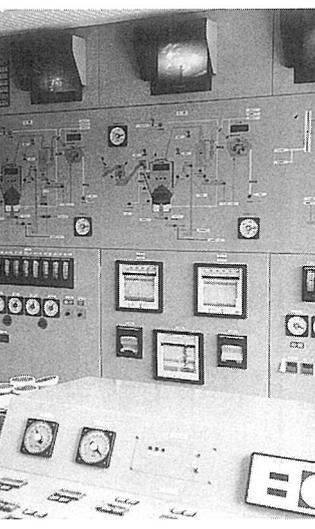
今後、魅力ある竜丘づくりを進めていく上では、地域住民が広い視野と、将来を見通した視点を持ち、地域づくりに主体的に考え、充分に話し合い、地域のビジョンを打ち立てることが、次代の竜丘をより一層「魅力と活力に溢れる地域」にして行くことにつながるといえるでしょう。

クリーンセンターの環境測定結果発表

平成元年四月より、稼働した桐林クリーンセンターはその後約二年を経過し、そびえる煙突も見慣れた風景となりました。クリーンセンターの着工・稼働に前後し、桐林の上段には、グランド・サンヒルズいいだの施設が整備され、また工業団地も造成され、桐林だけでなく竜丘が大きく変わろうとしています。

先に開かれた、桐林クリーンセンター竜丘地区連絡協議会において、平成二年度のばいじん濃度・いおう酸化物排出量・塩化水素濃度・窒素酸化物濃度のいずれも排出基準に適合し、また悪臭物質のほとんどが協定値の十分の一以下でどの数値も協定値以下となっています。

また、衛生組合などにより、進められているごみの分別収集の状況ですが、クリーンセンターでは、月に数箇所ごみ排出場所毎にごみの組成を分析しています。焼却に不適合なプラスチック・金属等が五〜十五パーセントもあり、これらを燃やすことができないので、ごみの一層の分別収集を呼び掛けています。



クリーンセンターの操作パネル

公表されている検査結果は、素人にはわかりづらいため、その内容がどのようなものであるのかといった解説を望む声もあり、地域環境との調和を保つ管理運営を行ってほしいものです。

鉛筆について

去る四月二十七日に、春の褒章受賞者が発表されました。県内では黄綬褒章四名が選ばれました。今回はこの程黄綬褒章を受賞した、駄科の北沢小太郎さんを訪ねました。

北沢さんは、長年に渡り切手・はがきの販売を請け負う傍ら、郵便切手販売協会の飯伊地区長を務めるなど、国の委嘱業務に協力した功績が認められたものです。そもそも事の始まりは、郵便制度が広まってきた明

切手販売百十年 黄綬褒章受賞



駄科 北沢 小太郎さん

治十五年、村にポストを置く必要が少なくなりました。く事になり、当時駄科村戸長（現在の村長）の北沢さんのお宅が、駄科小学校（現在お宮の場所）の前にあり、利用面で都合が良かった。何と十二万余の販売所があったのがきっかけで、小太郎さんの祖父伝次さんが始めたのです。以来百十年、小太郎さんが引き継ぎ六十二年目となりました。「電話の普及により年々

秋の間にて同席した二十余名と共に、天皇陛下よりお祝いのお言葉をいただきました。緊張の中にも「春秋の間の素晴らしさを是非写真に撮りたかった」というのが、さすがにお許しが出ず、カメラは車中にとの事でした。利益を追求する事の多い現在の社会形態の中にあつて、「誰かがやらないと困る事なので」と利潤を無視したいわば奉仕の精神には、いかに国の委嘱業務といえど頭の下がる思いでした。今回の褒章を糧に、ますますの活躍をお祈りいたします。

より便利になりました 駄科郵便局開局

駄科の国道一五三号線沿いに駄科郵便局が開局しました。以前は簡易郵便局としての業務を行っていましたが、今回移築に伴って簡易という字がなくなりました。駄科郵便局となりました。駄科簡易郵便局は今から二十八年前に開局して以来地域の郵便局として駄科地



国道沿いの新郵便局

区民と共に歩いて来たわけですが、バイパスの開通や人口の増加などにより環境の変化も大きく、バイパス沿いへの移築に伴って利用されるお客さんも変化し、竜丘地区のみならず、国道に沿って南は下条や阿南町といった所からも通りすがりに立ち寄られる方もいら

しゃり、利用客がより広域化してきたと局長さんはおっしゃっておられました。七月にはCDのコナールも開設予定で、カード時代に対応してより便利になるという事です。現在は局長さんを含めて三名で業務に当たっておられ、建物の中もとても明るくなっています。又局内に足を踏み入れると正面に六畳くらいのスペースがあり、PRコーナーといった感じで、地域と密着した利用方法を考えておられるようで、他の無集配局には見られない所です。ぜひお気軽にお寄り下さいとのことでした。女子

つきました夜間照明 ソフトボール大会結果

五月二十六日に行われた分館交流ソフトボール大会は良い天気恵まれ、大勢の人でにぎわいました。選手の方々は暑さにもめげず、元気に白いボールを追いかけていました。日頃の運動不足を感じながらも汗を流したのではないのでしょうか。結果は、男子A(四十一才以上) ①時又②上川路③駄科 男子B(四十才以下) ①桐林②駄科③長野原 女子

①駄科②桐林③時又という事で大変ご苦労様でした。今回行われた桐林運動公園のグラウンドには、新しい夜間照明が設置され、竜丘夜間ソフトリーグ等でもすでに利用されています。今後も、竜丘の皆さんをはじめ子供から大人まで多くの人々の交流の場として、いつも笑顔やわらい声の聞こえてくる活気ある、そんなグラウンドにしていきたいですね。